

まちづくり交付金 事後評価シート
亀田駅周辺地区

平成22年1月

新潟県新潟市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県	市町村名	新潟市	地区名	亀田駅周辺地区			面積	78.9 ha
交付期間	平成17年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	2,105百万円	国費率	0.366		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(市道3路線、融雪装置2路線)、下水道、地域生活基盤施設(駐車場、パークアンドライド駐車場、自転車駐車場)、高質空間形成施設(シェルター、音声誘導装置、緑道整備)、高次都市施設(地域交流センター)							
		提案事業	地域創造支援事業(橋上駅舎建設事業、亀田駅西土地区画整理事業、下水道事業、高次都市施設)、まちづくり活動推進事業(バリアフリー推進社会実験)							
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		提案事業	なし							
	新たに追加した事業	基幹事業	なし							
		提案事業	なし							
交付期間の変更	当初	平成17年度～平成21年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
	変更									

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標	内容		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	地区内の定住人口の増加	人	2,239	H16	4,000	H21		3,380	△	あり	●	関連事業の駅東土地区画整理事業で計画人口を約1,800人としていたが、土地区画整理事業地内の宅地利用率が77%にとどまった。また、宅地利用の中で、医療、福祉等の事業用地の利用が進んだため、計画人口を達成していないが、地区の居住環境が向上した。	平成22年4月頃
指標2	交流人口の増加	人/年	400	H14	1,000	H21		4,000	○	あり	なし	市民の交流の場となる亀田駅前地域交流センターを亀田駅自由通路に直結して建設したことによる。また、利便性を高めるため、周辺道路・駐輪場・駐車場等の整備を行った。	平成22年4月頃
指標3	JR利用者の増加	人/日	7,700	H14	9,000	H21		9,700	○	あり	なし	地区内に新潟明訓高校が移転したこと及び、駅東土地区画整理事業等により定住人口・事業所が増加したことがJR利用者の増につながった。また、東西駅前広場・シェルター・駐輪場・駐車場の利用者の利便性を高める整備を行ったことによる。	平成22年6月頃
指標4										あり	なし		

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標	内容		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	駅東土地区画整理事業地内の福祉・医療用地の増加	m ²	31,384	H14				45,842				駅前広場及び道路への歩行者支援施設、障害者支援施設が整備され、高齢者や障がい者が利用しやすい環境になったことにより、福祉施設・医療施設の立地につながった。	平成22年4月頃
その他の数値指標2	駅前広場への公共交通機関の乗り入れ数	台/日	0	H16				18				駅前広場及び広場への進入道路の整備により、区バス及び地域コミュニティバスが駅前広場に乗り入れできるようになったことによる。	平成22年4月頃
その他の数値指標3													

4)定性的な効果発現状況

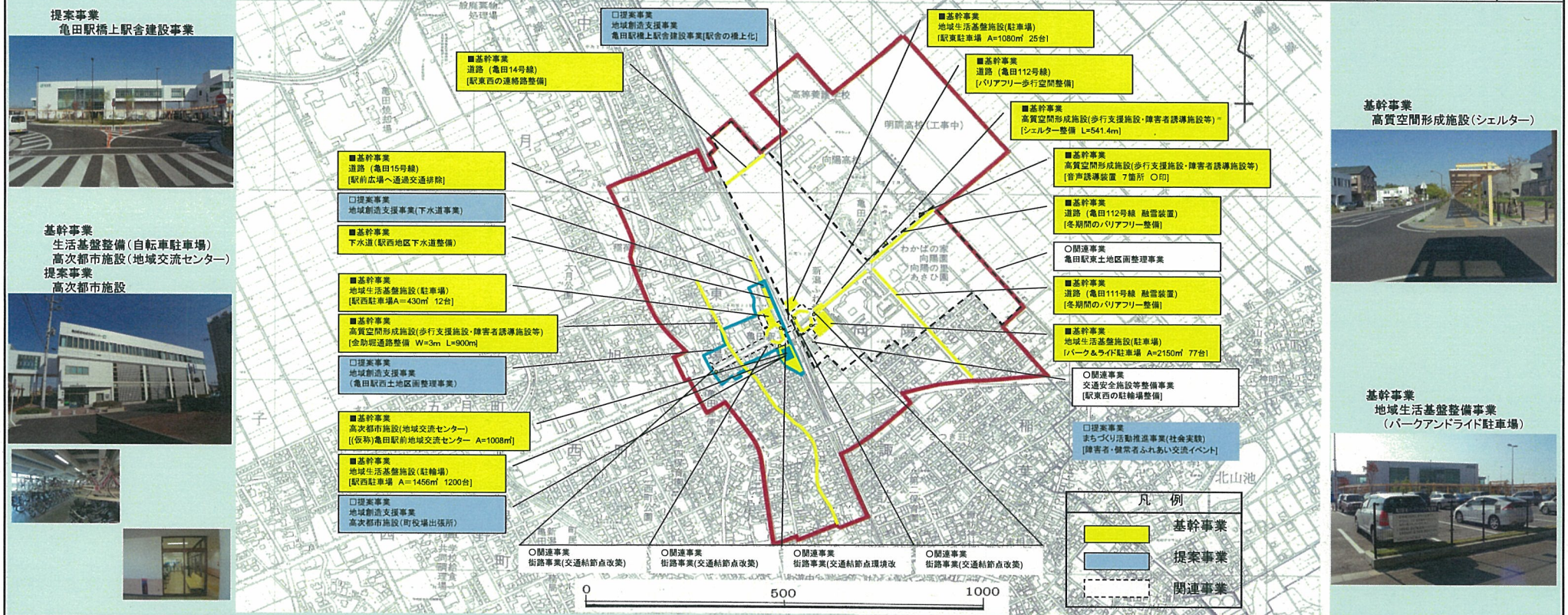
- ・江南区の中心であり、区の玄関口でもある、亀田駅周辺地区が活性化された。
- ・東西自由通路の整備により、JR信越線で分断されていた亀田駅東西地区間の移動が容易になり人的交流が増加した。
- ・東西自由通路内にエレベーター及びエスカレーターを設置したことにより、高齢者、障がい者が駅東地区の福祉施設等に安全かつ円滑に移動できる。
- ・東西自由通路内にエレベーター及びエスカレーターを設置したことにより、障がい者が活発に活動できるようになった。
- ・東西駅前広場の整備、駅西地区の電線地中化により、景観が向上した。

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	項目	内容	実施状況	今後の対応方針等	項目	内容
5)実施過程の評価	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた			
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた				
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			

様式2-2 地区の概要

亀田駅周辺地区(新潟県新潟市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
駅を中心とする地区の一体的整備に伴う住環境整備の向上及び交流人口の増加 目標① 地域コミュニティの場を提供するとともに、回遊性を創出し活気ある街を目指す 目標② 駅・駅前広場・道路を整備することで交通アクセスを快適にし、安心で快適な歩行空間整備を図る	地区内の定住人口の増加	単位: 人	2,239 H16	4,000 H21	3,380 H21
	交流人口の増加	単位: 人/年	400 H14	1,000 H21	4,000 H21
	JR利用者の増加	単位: 人/日	7,700 H14	9,000 H21	9,700 H21



まちの課題の変化

- ・亀田駅東口及び自由通路の整備より、駅東側への移動の利便性が向上した。また、歩道の融雪装置・シェルター等の整備により快適な歩行空間の形成を図った。
- ・市民の交流の場として亀田駅前地域交流センターを建設し、その利便性向上のために、周辺道路、駐輪場、駐車場等の整備を行った。
- ・東西駅前広場、パークアンドライド駐車場等の整備により、自動車、バス等から電車への連携が円滑になり、交通結節点としての機能強化が図られた。
- ・金助堀歩道(バリアフリー化)、東西自由通路等、及び関連事業の亀田停車場線の整備により、歩行空間ネットワークが形成された。
- ・道路・歩道の整備(バリアフリー化、融雪装置、シェルター、音声誘導装置等の整備)を行い高齢者、障がい者が利用しやすくなった。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・亀田駅前地域交流センター等施設整備は達成されたので、今後はエリアマネジメントが必要。
- ・交通事故等が懸念されるため、道路管理者、交通管理者、利用者等が協議し、交通安全に努める。
- ・より良いまちづくりを進めるため、地域住民、利用者等の意見を聞く機会を積極的に作り、住民参画や協働を推進することが必要である。